

<p style="text-align: center;">2018/6/18-6/24</p> <h2 style="text-align: center;">デボーションガイド</h2> <h3 style="text-align: center;">「ユースマナ」</h3> <p>詩篇 27:4</p> <p>私は一つのことを主に願った。 私はそれを求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために。</p>	<p style="text-align: center;">2018/6/18(月)</p> <h3 style="text-align: center;">詩篇 25 篇</h3> <p>ダビデを悩ませていたのは、ダビデ自身の罪と、彼の敵のことでした。その中でダビデはあなたの道を教えてくださいと祈っています。信仰によって歩むべき道があることをダビデの祈りから知ることができます。私たちの日々は選択の連続です。その時その時に私たちはどちらかを選んで歩んでいます。愛するか、愛さないか。裁くか、裁かないか。許すか、許さないか。従うか、従わないか。聞くか、聞かないか。祈るか、祈らないか。どちらを選ぶか悩む時もあれば、特に意識せず選んでいることもあると思います。今日、自分が神様が喜ばれる方を選び、歩むべき道を進むために何をしますか？神様に今、何を求めて祈りますか？</p>	<p style="text-align: center;">2018/6/19(火)</p> <h3 style="text-align: center;">詩篇 26 篇</h3> <p>ダビデは誰かに非難されていたのかもしれない。そして自分は誠実に歩んだと神様に訴えているよ。また神様に自分を調べ試みて欲しいとも言っているんだ。ダビデの誠実さは、絶対に罪を犯さなかったことではなくて、自分の弱さと罪深さを自覚して神様の取り扱いを求め、神様から離れなかったところにあるよ。</p> <p>誠実に生きるとは、イエス様との関係を大切にすることです！！ 今日イエス様が隣にいて下さることを意識して生きよう！！</p>	<p style="text-align: center;">2018/6/20(水)</p> <h3 style="text-align: center;">詩篇 27 篇</h3> <p>ダビデはたくさんの困難の中を、主と共に歩んだ。ダビデが敵対するものに追い詰められたとき、神様はすぐにダビデの敵を倒し、隠れ場に隠し、幕屋のひそかな所にかくまい、岩の上にあげてくださった。そのような神様の取り扱いを通して、ダビデは一つのことを主に願った。それは、「いのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために」。さらに、「御顔を私は慕い求めます」と。私たちも、いのちの日の限り、あなたを慕い求め 主の家に住むことを願います！主よ。あなたの道を私に教えてください！</p>
<p style="text-align: center;">2018/6/21(木)</p> <h3 style="text-align: center;">詩篇 28 篇</h3> <p>この詩篇は、ダビデのいつの時代のものなのか、よくわかっていない。しかしダビデが悪者の手に陥った危機的状況にあった時、アブシャロムの謀反の時ではないか、と考えられている。そのような危機的状況の中での祈りと祈りの応えに対する感謝を言い表している。祈っても状況は何も変わらない時もあるが、確かに神に心のうちに語られて、心が落ち着くことがある。私たちは、祈りの中で神の平安と喜びを頂くことができる。そして、私たちは苦しんでいるかもしれないが、多くの私たちの周りの人々も苦しんでいることを思い出すべきである。だから、自分自身のために祈るだけでなく、周りの人々のために祈ろう。そして、神様は憐みの手で私たちに触れたように、周りの人々に、憐みの手(神様の愛)をもって接しよう。</p>	<p style="text-align: center;">2018/6/22(金)</p> <h3 style="text-align: center;">ヨシュア 13:1-14</h3> <p>ヨシュアが老人になっても、神様にはヨシュアの計画がありました。その時に神様は「私が彼らを追い払おう」とヨシュアを励ましました。私も神様の技を信じる心がどこまであるでしょうか？まず、普段から神様が世界を動かしている事を確信し、神様が命じられた通りに行く必要があります。それはとても難しい事ですね。神様は霊的な奇跡を起こす事がありますが、普段から神様は人の想いに働かれる方です。また愛によってそれを行う方です。ヨシュアがこれからの人生を成し遂げる為にそれを知る必要がありました。今日もあなたに生かされている事を感謝し、確信して祈ろう！</p>	<p style="text-align: center;">2018/6/23(土)</p> <h3 style="text-align: center;">ヨシュア 13:15-33</h3> <p>今日は昨日に続いて領土の割り当てのことが書かれている。ルベン、ガド、マナセの半部族。彼らの地はモーセの時代にイスラエルを妨害したエモリ人を打って手に入れた土地だった。それぞれの部族に家畜の多さや人々の規模も違った。でも、その領土を勝ち取っていく一つ一つの過程に神様のみわざ、計画があったんだ。今日の私たちの生活も、神様が与えてくださった恵みであることを覚えて感謝しよう！</p>	<p style="text-align: center;">2018/6/24(日)</p> <h3 style="text-align: center;">ヨシュア 14 章</h3> <p>14章ではカレブに個人的に相続地が与えられています。これはとても特別なことだけど、カレブが信仰をもって神様に従って生きてきたからこそ、与えられて任された場所でした。神様は私たちにも任せてくださっている場所があります。それは学校や習い事をしているところなど、人によって違ってもいいかもしれませんが、それぞれの場所でみんなはどう思って過ごしているかな？神様を知っているのは自分だけという時に、その場所で自分には何ができるでしょうか。1人ではできないことも、神様と一緒にしたらできます。神様が与えてくださった場所で輝くことが出来るように、今以上に用いられるように神様に求めて祈ろう！</p>

